6月定例会の結果

原案のとおり	予算関係１件、条例関係３件
可決・同意	その他議案20件、意見書１件
	決議１件
修正可決	条例関係１件
不採択	請願２件

6月定例会　議案の審議結果

会期：６月８日(月)～６月29日(月)

■全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	41	令和8年度(2026年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)
	42	彦根市市税条例の一部を改正する条例案
	43	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案
	45	財産の取得につき議決を求めることについて
	46~64	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
決議	1	北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	6	令和8年度(2026年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	7	第39期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	8	第24期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	9	令和7年度(2025年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について
	10	令和7年度(2025年度)彦根市病院事業会計予算繰越しについて
	11	令和7年度(2025年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	12	令和7年度(2025年度)彦根市下水道事業会計予算繰越しについて

５月臨時会・６月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちら

▼意見書・決議

▼議案一覧・議決結果

■賛否が分かれた案件

（○：賛成　●：反対　―：議長）

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	八橋龍二	堀口達也	中野正剛	上杉正敏	北川元気	辻真理子	森野克彦	和田一繁	矢吹安子	小川吉則	黒澤茂樹	疋田菜穂子	伊藤容子	奥野嘉己	安澤勝	野村博雄	森田充	戸﨑克司	馬場和子	長﨑任男	小川隆史
議案	44	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○
請願	1	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	不採択	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	―	●
	2	日本政府に核兵器禁止条約への批准を求めることに関する請願書	不採択	○	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	―	●
意見書	1	滋賀県における地域公共交通目的の新たな税導入に慎重な対応を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	―	○

■令和８年３月定例会で継続審査となった議案第13号の修正案についての賛否

彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	―	○

※議案第13号彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正部分を除くその他の部分については、全員賛成で原案のとおり可決されました。

このような討論がありました

議案第13号　「彦根市職員等の職務上の行為に係る訴訟等の支援に関する条例案の修正案について」

反対　対象範囲の限定や公費支出の公平性、条例としての法的安定性に課題があり、弁護士や執行部からも憲法・法令との整合性や制度設計への懸念が示されている。彦根市が市民と市職員の双方から信頼される行政であり続けることを願い反対。

賛成　原案より条例制定の趣旨や立法事実が明確に示されていることから、本条例の目的により適うものと判断できるため賛成。

反対　法的な疑義を残さず、対象を限定せず、公平で普遍的な制度でなければならないため反対。

議案第44号　「家庭的保育事業等に係る保育士配置基準の見直しに伴う条例改正について」

反対　保育士配置基準の緩和ではなく、保育の専門性を生かした支援体制の充実が必要なため反対。

請願第１号　「「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める意見書」 を政府に送付すること」

反対　国家賠償法の制定は国会や政府において議論すべき課題であるため反対。

賛成　本請願は人権尊重の意思表示であり、地方議会から国に意見を届けることは重要な役割であるため賛成。

請願第２号　「日本政府に核兵器禁止条約への批准を求めること」

反対　核兵器禁止条約への署名・批准は国の安全保障に関わる課題であり、国が総合的に判断すべきであるため反対。

賛成　世界では核兵器禁止条約への批准が広がり、国内で多くの自治体から批准を求める意見書が提出されている。住民の命と暮らしを守る地方自治体で、議会が平和を願う市民の声を国へ届けるのは役割と考えることから賛成。

意見書案第１号　「滋賀県における地域公共交通目的の新たな税導入に慎重な対応を求める意見書案について」

反対　知事選挙期間中の意見書提出は政治的中立性への配慮を欠く。また、税導入に否定的な論点に偏り、公共交通の課題や財源確保の必要性への記述も不十分で、公平性を欠くため反対。

賛成　地域公共交通の維持は重要だが、新たな税負担は慎重に検討すべきであり、既存施策の見直しや財源活用を優先し、県民や市町への十分な説明と合意形成を求めるため賛成。

一般会計補正予算の主な事業

消防団活動推進広報事業　544千円

　消防団の力向上モデル事業について、消防庁から事業採択を受けたため、必要な経費を補正するもので、全額国庫支出金をもって賄うもの。

▲大学と連携した消防団員加入促進事業

予算常任委員会

議案第41号　令和８年度（2026年度）彦根市一般会計補正予算（第１号）を可決

予算常任委員会は、6月19日(金)に委員会を開催し、１件の議案について慎重に審議しました。

【審査】
・議案第41号

【主な質疑】
Q　（仮称）図書館中部館整備事業の減額の理由と影響は。
A　国の補助金が、当初見込んでいた額よりも減額となったことに伴い、工事費も減額となった。このためスケジュールが全体的に６か月程度後ろにスライドされ、供用開始は令和11年度になると想定している。
Q　公共施設のＬＥＤ化事業の債務負担行為２億4,237万円の対象範囲とリースにする理由は。
A　一括化のコストメリットが低い施設、国庫補助が見込める施設、施設のあり方を検討している施設を除く78施設6,000台を対象とした。工事をする場合、価格はリースの概ね1.4倍程度高く、また詳細仕様も一台ごとに作成する必要があるため、時間的にもコスト的にも有利であった。
Q　小泉庄堺線道路改良事業の減額理由と影響は。
A　国からの補助の内示が厳しく、（仮称）図書館中部館整備事業に補助を全額割り振ったため、本事業は全額減額となった。このため工事着手が令和９年度となり、令和９年度、10年度の予算で工事は実施となる。

【主な討論】
○議案第41号に対して
賛成　公共施設のＬＥＤ化事業は、リース方式ありきではなく、ＰＦＩ方式やＰＰＰ方式等、あらゆる方法を十分検討し、決定方法の透明性を確保しながら進めてほしい。
賛成　公共施設のＬＥＤ化事業は厳しい状況だからこそ、市内業者に配慮した形での取り組みをしてほしい。

【結果】
・議案は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案第13号は修正案および修正案以外の部分は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、６月22日(月)に委員会を開催し、２件の請願、２件の議案について慎重に審査しました。

【審査】
・請願第１号、請願第２号
・議案第45号、議案第13号（継続審査）

【主な質疑】
○議案第13号（継続審査）に対して
Q　原案を提出した背景は。また、修正案に対し、執行部として対象、制度の考え方をどう整理するか。
A　誠実に職務を履行した職員を、彦根市議会議員からの告訴で苦しめたことを深く反省した。修正案は支援対象の範囲、規則との整合性、氏名公表制度に制度設計上の課題があり、慎重な検討が必要。
Q　修正案を提出した背景は。
A　議員による異例の刑事告訴が発生したことを受けて、対象を市議会議員等に限定した。

【主な討論】
○請願第１号に対して
反対　本請願は、本来国で議論されるべきものであり、地方議員が提出する場合は十分な検証と慎重な判断が必要であるため反対。
○請願第２号に対して
反対　国家の外交、安全保障、国防に関する重い判断は、国が総合的に判断すべきであるため反対。
○議案第13号（継続審査）の修正案に対して
反対　対象を特定の者とせず、全体を対象とするべきであるため反対。
法や憲法に抵触する可能性が強く、職員を守るためには、隙のない緻密な条文が必要であるため反対。
賛成　意見書を踏まえ法律家の意見を聞き提出され、一日も早い条例制定が必要であるため賛成。
提出された意見も踏まえて修正案が提出されているため賛成。

【結果】
・請願第１号および請願第２号はいずれも不採択
・議案第13号は、修正可決、修正案を除き、原案のとおり可決
・議案第45号は原案のとおり可決